I-O DATA

MOC2シリーズ
取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

101943-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
   したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
8) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
9) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
10) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
11) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
12) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
13) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
    国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
14) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- i-CONNECTおよびi-CONNECTのロゴは、株式会社アイ・オー・データ機器の商標です。
- Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Apple,Macintosh,Power Macintosh,PowerBook,Mac,Mac OSロゴおよびその標章は、米国Apple Computer,Inc.の登録商標です。
- iMac,iBook,Power Macは、米国Apple Computer,Inc.の商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意表示

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「発火注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告



本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。



煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。



本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。



本製品の取り付け、取り外しの際は、必ず本書で、取り付け取り外し方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。



本体を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。



濡れた手で本製品を扱わないでください。

感電や、本製品の故障の原因となります。


厳守

ACアダプタについては以下にご注意ください。

●必ず添付のＡＣアダプタを使用してください。
●電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
●電源コードをＡＣコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。
●電源コードの電源プラグは、濡れた手でＡＣコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因となります。
●電源コードがＡＣコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。
●ACアダプタにものを乗せたり、かぶせたりしないでください。
●保温・保湿性の高いものの近くで使用しないでください。
（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
●本製品を長時間使わない場合は、ACアダプタを電源から抜いてください。
ACアダプタを長時間接続していると、電力消費・発熱します。


禁止

内部をのぞきこまないでください。

内部のレーザー光線を直視すると視覚障害を起こす恐れがあります。

⚠ 注意



本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

MO ディスクは消耗品です。
故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。



本製品は以下のような場所で保管･使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所



アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。



本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない



本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

- ●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- ●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。



本製品内部で結露させたまま使わない。

時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。
本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、内部が結露する場合があります。
そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。



本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。



動作中にケーブルを激しく動かさないでください。

接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

使用上のご注意

●本製品からOSは起動できない

本製品からのOS起動はサポートされておりません。

●本製品を長時間、連続で使わない

本製品内部は書き込み時、かなり高温になります。そのため長時間、MOディスクのフォーマットや書き込み作業を行うと、本製品の安全装置が働き、処理が中断されてしまう場合があります。
このような場合は、本製品を取り外して電源を切り、本製品をしばらく冷やしてください。その後、中断された処理を再び行ってください。

●本製品内部のクリーニングについて

空気中に浮遊するゴミ・チリ、およびタバコの煙などにより、データの読み書きができなくなるおそれがあります。
なお、タバコの煙がレンズなどに付きますと、クリーニングキットでは取れない汚れとなる場合があります。本製品の周囲での喫煙はお控えください。
日常のお手入れとしては、下記のクリーニングキットをお使いの上、定期的なクリーニングをお願いいたします。



推奨クリーニングキット

「Head CLEANER No.0240470」（富士通コワーコ株式会社）
住所　〒160-0023
東京都 新宿区西新宿 6-24-1　西新宿三井ビルディング
TEL/FAX　03-3342-5460/03-3342-5446
Web　http://www.coworco.fujitsu.com/

本製品の取り扱いについて

富士通株式会社の下記ホームページも併せてご覧ください。
http://mo.fujitsu.com/support/maintain/



上記クリーニングキットをお使いください

弊社では、上記クリーニングキットでのみ動作保証を行っております。
これ以外の市販品では動作の保証は行っておらず、弊社製品に対しお使いになりますと、本製品内部の損傷原因となる場合があります。ご注意ください。

●他のUSB機器を使う場合は、下記に注意する

・本製品の転送速度が遅くなることがあります

・本製品をUSBハブに接続しても使えないことがあります

その場合は、パソコンのUSBポートに接続してください。

●MOディスクを取り扱うときは、下記に注意する

・MOディスク内部に直接触れない

MOディスクが故障する原因となります。

・MOディスクのシャッターにラベルを張らない

本製品、MOディスクが故障する原因となります。

・ラベルを2重3重に重ねて張らない

本製品内部ではがれ、故障の原因となります。

●640Mバイト以上のMOディスクは圧縮ドライブとして使わない

●MOディスクに「ディスクコピー」を使わない

「ディスクコピー」は、MOディスクに対応していません。エラーメッセージが表示されたり、パソコンが動かなくなります。

●MOディスクの読み書き中に、下記に注意する

・MOディスクを取り出したり、パソコンや本製品の電源を切らない

記録されたファイルの読み書きができなくなったり、MOディスクが傷つき、使えなくなる場合があります。

・省電力モードにしない

MOディスク内のデータが破損する原因となります。



省電力モード

スタンバイ/休止/スリープなどを指す。

お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お使いの前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

呼び方

呼び方	意　味
本製品	MOC2シリーズ
MOC2シリーズ	本製品、または本製品のMOドライブ
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System, Microsoft® Windows® XP Professional Edition Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System, Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System
Windows Me/98	Windows Me, Windows 98
Windows	Windows XP, Windows 2000, Windows Me/98
Mac OS 9	Mac OS 9～9.2.1

マークの説明



注意
本製品を使う上で、注意すべきことが書かれています。



参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

もくじ

必ずお守りください i
お読みになる前に viii
もくじ ix

はじめに **1**

箱の中には 2
動作環境 4
各部の名称・機能 5
添付品を取り付けよう 7
お使いのOSは？ 8

Windowsでお使いの場合 **9**

USB 2.0 CC サポートソフトを入れよう 10
MOソフトウェアを入れよう 12
接続しよう 14
確認しよう 16
基本操作について 23

Mac OS 9でお使いの場合 **35**

使えるようにしよう 36
接続しよう 38
確認しよう 40
基本操作について 41

付録 **47**

困った時には 48
権限変更 61
サポートソフトの削除 65
用語解説 71
ハードウェア仕様 72

サポートセンターへのお問い合わせ 73
サポートソフトのバージョンアップ 74
修理について 75

Memo

はじめに

箱の中には ・・・・・・・・・・・・・・・・・2

箱の中のものを確認します。

動作環境 ・・・・・・・・・・・・・・・・・4

本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。

各部の名称・機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・5

スイッチなどの名前と機能を説明します。

添付品を取り付けよう ・・・・・・・・・・・・・・・・・7

添付品を取り付ける方法を説明します。

お使いのOSは？ ・・・・・・・・・・・・・・・・・8

お使いのOSに合ったページを案内しています。

箱の中には

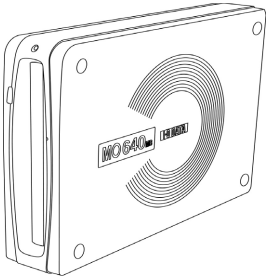
箱の中には以下のものが入っています。
□にチェックをつけながら、ご確認ください。
万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

参考

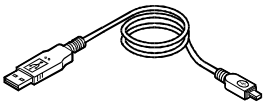
箱・梱包材は
大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて
実物と若干異なる場合があります。

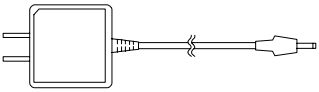
□ **MOドライブ(1個)**［MOC2シリーズ］



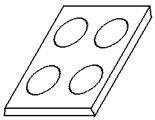
□ **USBケーブル(1本)**［約1m］



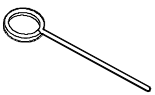
□ **ACアダプタ(1個)**



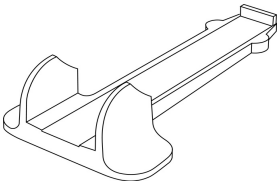
□ **ラバーフット(4個)**［横置き用］



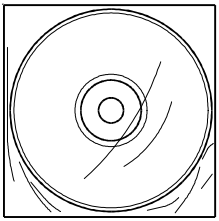
□ **強制イジェクト・ピン(1本)**



□ **スタンド(1個)**［縦置き用］



☐ **MOC2シリーズサポートソフト（１枚）**



・USB 2.0 CC サポートソフト
・MOソフトウェア（MOC2用）

☑ **MOC2シリーズ取扱説明書(本書：１冊)**

☐ **ハードウェアシリアルNo.シール(１枚)**

☐ **ハードウェア保証書(１枚)**

☐ **ユーザー登録カード(１枚)**



ユーザー登録は済ませましたか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。

動作環境

本製品を使うことのできるパソコン環境を説明します。

対応機種および対応OS

次の条件を満たすこと

・本製品を接続できるUSBポートがあること。

※USB 2.0環境での動作は、弊社製USB 2.0インターフェイスにおいて確認を行っております。動作対応については、各メーカーにお問い合わせください。

※従来のUSB 1.1ポートを搭載した機種や弊社製USBインターフェイスボード「USB-PCI」を装着した機種でもご利用いただけます。ただし、本製品はUSB 1.1機器として動作します。

・インストール時にCD-ROMドライブがあること。

対応機種	対応OS（日本語版のみ）
PC98-NXシリーズ DOS/Vマシン※1※2※3	Windows XP※4, Windows 2000※5, Windows Me※5, Windows 98 SE※5, Windows 98※5
iMac, iMac DV, iBook PowerMac G4 Cube, PowerMac G4 PowerMacintosh G3※6 PowerBook G4, PowerBook G3※7	Mac OS※8 9～9.2.1

※1　弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。

※2　次の機種(2001年10月末現在)では、本製品をUSB 1.1環境で使えません。
東芝製 DynaBook SS PORTEGE6000、DynaBook Satellite2520シリーズ
SOTEC製 e-note M260TX2/TX3

※3　本製品をUSB 1.1環境でお使いの場合、COMPAQ製 PRESARIO 3566/3567/3576/3581/3590では、パソコンのBIOSアップデートが必要です。
詳しくは、コンパック プレサリオ サポートセンターにお問い合わせください。

※4　USB 1.1のみ対応となります。USB 2.0へは、Windows Updateにて対応予定です。
対応状況については、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）にてご確認ください。

※5　弊社製USB 2.0インターフェイスでお使いの場合は、「USB 2.0インターフェイスサポートソフト」のバージョン2.00以降をお使いください。

※6　Blue & White以降。

※7　Bronze keyboard以降。

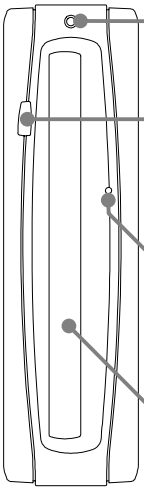
※8　USB 1.1のみ対応となります。

各部の名称・機能

各部の名称および機能の確認をします。

MOドライブ(MOC2シリーズ)

●前面



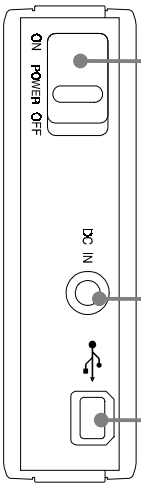
電源ランプ
電源投入時に、緑色に点灯します。

アクセスランプ・イジェクトボタン
読み書き中は緑色に点灯します。
これを押すと、Mac OSでお使いの場合を除いてMOディスクを取り出せます。
絶対に、点灯中には押さないでください。

強制イジェクトホール
MOディスクを強制的に取り出します。
通常は使わないでください。

MOディスク挿入口
MOディスクを挿入するところです。

●背面



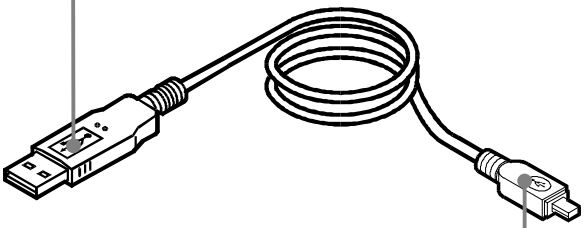
電源スイッチ
「ON」へ動かすと、電源が入ります。

DC端子
ACアダプタを接続します。

USBポート
USBケーブルを接続します。

USBケーブル

USBコネクタ（Aタイプ）
USBポートに接続します。

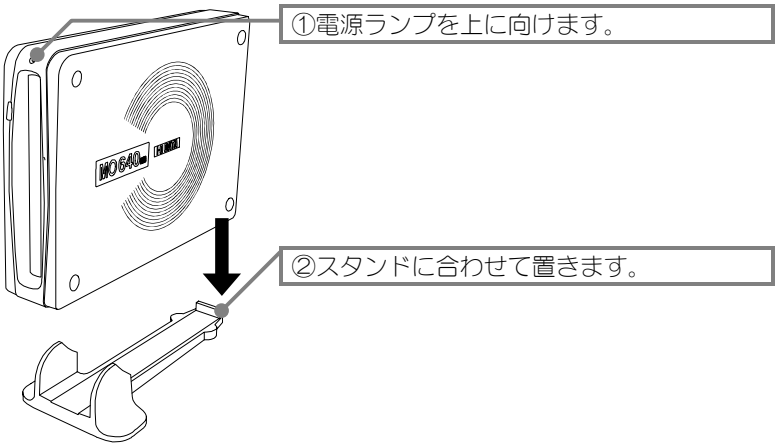


USBコネクタ（miniBタイプ）
MOドライブのUSBポートと接続します。

添付品を取り付けよう

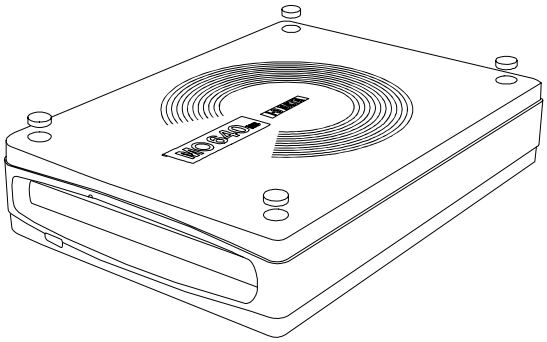
添付品の取り付けについて説明します。

縦置きで使う　～スタンドの取り付け～



横置きで使う　～ラバーフットの取り付け～

本製品を安定した場所にイジェクトボタンを下に向けて置き、４個所にラバーフットを取り付けます。取り付けた後は、ラバーフットを下にして置いてください。



お使いのOSは？

ここでは、お使いのOSに合ったページを案内しています。
下の表をご覧になり、それぞれのページへお進みください。

お使いのOS	章	
Windows	【Windowsでお使いの場合】	次ページ
Mac OS	【Mac OS 9でお使いの場合】	35ページ

Windowsでお使いの場合

USB 2.0 CC サポートソフトを入れよう ・・・・・・・・・・・・・・１０

USB 2.0 CC サポートソフトをパソコンに入れる手順を説明します。

MOソフトウェアを入れよう ・・・・・・・・・・・・・・１２

MOソフトウェアをパソコンに入れる手順を説明します。

接続しよう ・・・・・・・・・・・・・・１４

本製品の接続について説明します。

確認しよう ・・・・・・・・・・・・・・１６

本製品が使えるようになったか確認します。

基本操作について ・・・・・・・・・・・・・・２３

本製品を使う上での操作について説明します。

USB 2.0 CC サポートソフトを入れよう

USB 2.0 CC サポートソフトをパソコンに入れる手順を説明します。

まだ本製品を接続しないでください
本手順内で「接続する」という記載があるまで接続しないでください。
【接続しよう】(14ページ)で接続します。

Windows XPとWindows 2000の場合
インストールできるアカウントでログオンしてください。

CDメニューを表示する

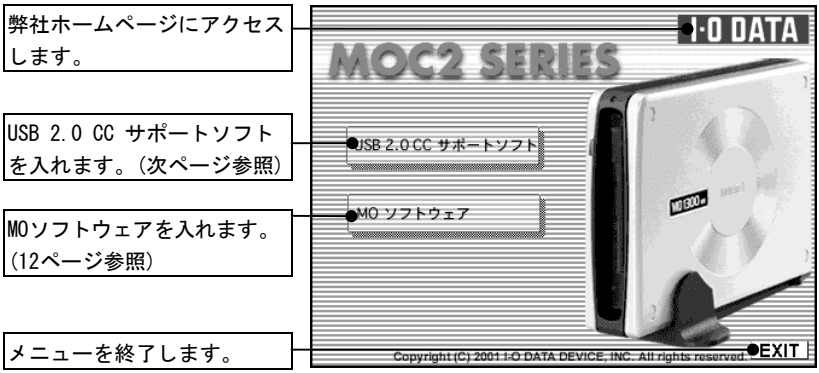
サポートソフトのメニューを表示します。

1 パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。

全てのUSB機器（キーボード、マウスを除く）を取り外します。

2 「MOC2シリーズサポートソフト」を挿入します。

「MOC2シリーズサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。
⇒自動的にCDメニューが表示されます。



自動的にCDメニューが表示されない場合は
「MOC2シリーズサポートソフト」の中にある［AUTORUN］アイコンをダブルクリックしてください。



USB 2.0 CCサポートソフトを入れる

●Windows XP, Windows 2000の場合

本製品を使うために、USB 2.0 CC サポートソフトを必要としません。
【MOソフトウェアを入れよう】(次ページ)へお進みください。

●Windows Me, Windows 98 SE, Windows 98の場合

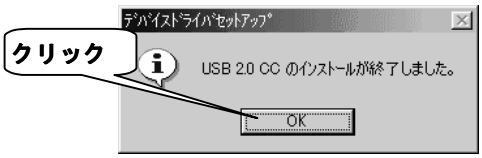
本製品を使うために、USB 2.0 CC サポートソフトが必要です。
下記手順を行ってください。

1 USB 2.0 CC サポートソフト **をクリックします。**

2 **[OK] ボタンをクリックします。**



3 **[OK] ボタンをクリックします。**



USB 2.0 CCサポートソフトがパソコンに入れられました。
次は、MOソフトウェアを入れます。次ページをご覧ください。

MOソフトウェアを入れよう

MOソフトウェアをパソコンに入れる手順を説明します。



この作業はCDメニューが表示されていることが前提です

【CDメニューを表示する】(10ページ)をご覧になり、CDメニューを表示してください。

手順	
Windows XP, Windows 2000の場合	本ページ
Windows Me, Windows 98 SE, Windows 98の場合	13ページ

Windows XP, Windows 2000の場合

本製品を使うために、MOソフトウェアが必要です。
下記手順を行ってください。

1 MO ソフトウェア **をクリックします。**

2 **［次へ］ボタンをクリックします。**

3 **［インストール］ボタンをクリックします。**

4 **［完了］ボタンをクリックします。**

5 **［はい］ボタンをクリックします。**
⇒パソコンは再起動されます。

MOソフトウェアがパソコンに入れられました。
これで本製品は使えるようになりました。
次は、本製品を接続します。14ページをご覧ください。

Windows Me, Windows 98 SE, Windows 98の場合

本製品を使うために、MOソフトウェアが必要です。
下記手順を行ってください。

1 

をクリックします。

2 **［次へ］ボタンをクリックします。**

3 **［完了］ボタンをクリックします。**
⇒パソコンは再起動されます。

MOソフトウェアがパソコンに入れられました。
これで本製品は使えるようになりました。
次は、本製品を接続します。次ページをご覧ください。

接続しよう

ここでは、本製品の接続について説明します。

1 USBケーブルをMOドライブに接続します。

USBケーブルのUSBコネクタ（miniBタイプ）を、MOドライブのUSBポートに接続します。

2 ACアダプタをMOドライブに接続します。

ACアダプタを、MOドライブのDC端子に接続します。

3 ACアダプタを電源コンセントに接続します。

4 MOドライブの電源を入れます。

5 本製品をUSBポートに接続します。

USBポートの場所については、パソコンまたはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧ください。



はじめて本製品を接続した場合は

「新しいハードウェア」などの画面が表示され、しばらくすると消えます。

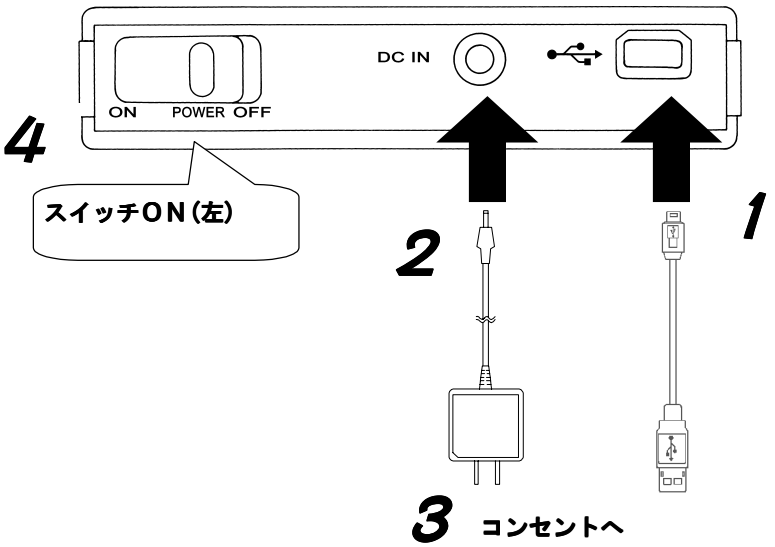


［新しいハードウェア］画面が表示されたまま消えない

［キャンセル］ボタンをクリックし、本製品をUSBポートから取り外します。その後、再び【USB 2.0 CC サポートソフトを入れよう】(10ページ)から作業を行ってください。

本製品は接続されました。
次は、正しく作業をできたか確認します。16ページをご覧ください。

本製品背面（横置きの場合）



確認しよう

ここでは、本製品が使えるかどうかを確認します。

手順	
Windows XP, Windows 2000の場合	本ページ
Windows Me, Windows 98 SE, Windows 98の場合	20ページ

Windows XP, Windows 2000の場合

注意

USB 2.0インターフェイスに接続する場合
各取扱説明書をご覧になるか、各メーカーにお問い合わせの上、USB 2.0インターフェイスが正常に動作しているかどうかをご確認ください。
その後、手順*10*にお進みください。

1 「システムのプロパティ」を開きます。

Windows XPの場合

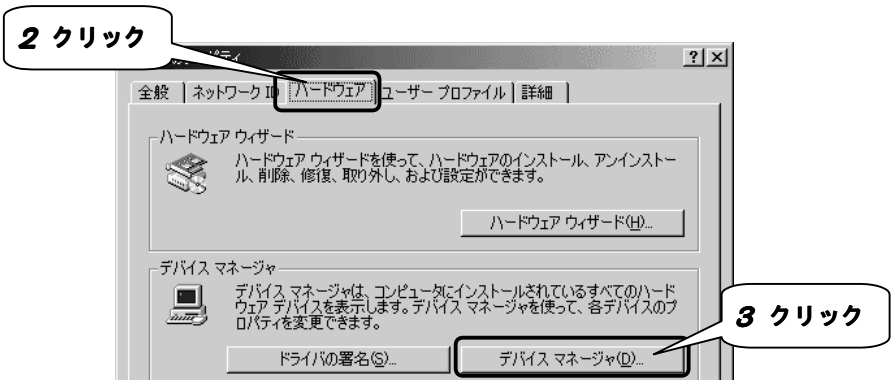
①［スタート］→［マイコンピュータ］の順にクリックします。
②［システム情報を表示する］をクリックします。

Windows 2000の場合

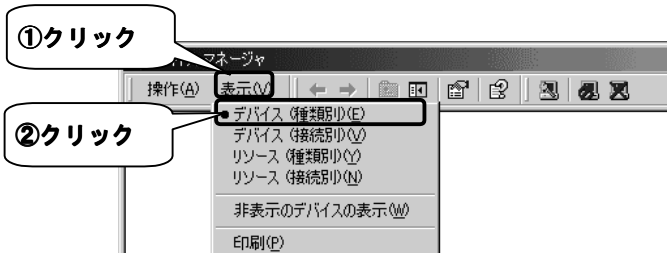
［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 ［ハードウェア］タブをクリックします。

3 ［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。



4 ［表示］→［デバイス(種類別)］を選択します。

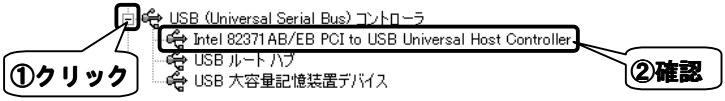


5 USBコントローラの名前を確認します。

①［USB(Universal Serial Bus)コントローラ］の左にある⊞をクリックします。

⇒その下が表示されます。

②USBコントローラの名前を確認します。



参考

USBコントローラの名前は･･･

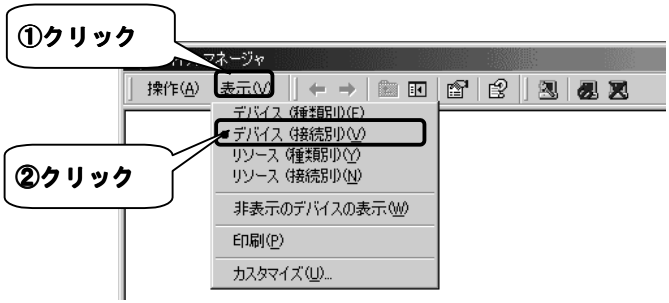
通常、「～USB～Controller」という名前になっています。

注意

USBコントローラに［!］が付いている

パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

6 ［表示］→［デバイス(接続別)］を選択します。



7 USBコントローラの名前を探します。

手順5で確認したUSBコントローラを探します。

USBコントローラの位置は･･･

通常、USBコントローラは［PCIバス］の下にあります。

［PCIバス］は、［ACPI(Advanced Configuration and Power Interface) BIOS］または［標準PC］の下にあります。

8 USBコントローラの下を確認します。

USBコントローラの下にあるドライバを確認します。



［USBルートハブ］に［!］が付いている

パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

［USB大容量記憶装置デバイス］に［!］が付いている

もう一度【USB 2.0 CC サポートソフトを入れよう】(10ページ)の手順を行ってください。

［USB大容量記憶装置デバイス］がない

【接続しよう】(14ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

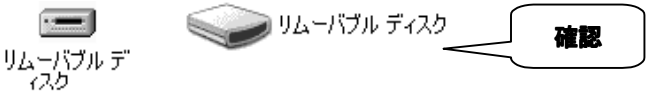
9 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある ✕ をクリックします。

10 本製品のアイコンを確認します。

［マイコンピュータ］の中に［リムーバブルディスク］アイコンがあることを確認します。

⇒これが本製品のアイコンです。



［リムーバブルディスク］アイコンがない

【本製品のアイコンが表示されない】(49ページ)をご覧ください。

複数のアイコンがある場合

Windowsでフォーマットされた**MO**ディスクを本製品のみに挿入します。
［リムーバブルディスク］アイコンを順番に開いていき、
その**MO**ディスクの内容が表示されるアイコンが本製品のアイコンです。

以上で、本製品は使えるようになりました。

Windows Me, Windows 98 SE, Windows 98の場合

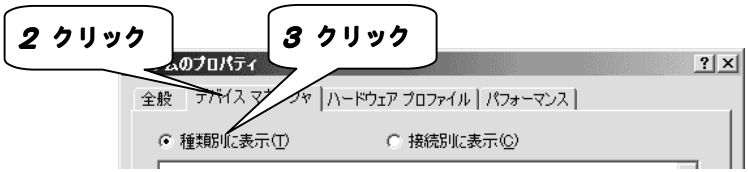
USB 2.0インターフェイスに接続する場合
各取扱説明書をご覧になるか、各メーカーにお問い合わせの上、USB 2.0インターフェイスが正常に動作しているかどうかをご確認ください。
その後、手順**9**にお進みください。

1 「システムのプロパティ」を開きます。

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

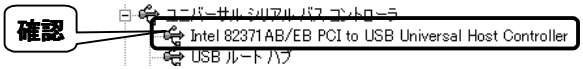
2 ［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

3 ［種類別に表示］を選択します。



4 USBコントローラの名前を確認します。

［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］の下にあるUSBコントローラの名前を確認します。

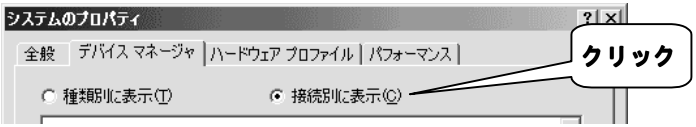


USBコントローラの名前は･･･
通常、「～USB～Controller」という名前になっています。

USBコントローラが２つ以上ある場合があります
その場合は、全てのUSBコントローラを確認してください。

USBコントローラに［!］が付いている
パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

5 ［接続別に表示］を選択します。



6 USBコントローラの名前を探します。

手順4で確認したUSBコントローラを探します。

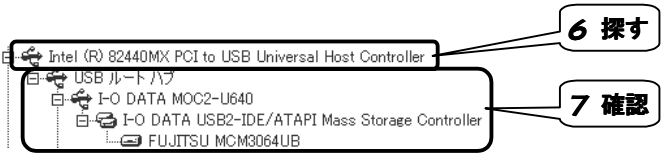
USBコントローラの位置は･･･

通常、USBコントローラは［PCIバス］の下にあります。

［PCIバス］は、［Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) BIOS］または［プラグアンドプレイBIOS］の下にあります。

7 USBコントローラの下を確認します。

USBコントローラの下にあるドライバを確認します。



［USBルートハブ］に［!］が付いている

パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

［I-O DATA MOC2-U640(MOC2-U1.3)］に［!］が付いている

もう一度【USB 2.0 CC サポートソフトを入れよう】(10ページ)の手順を行ってください。

［I-O DATA USB2-IDE/ATAPI Mass Storage Controller］に［!］が付いている

もう一度【USB 2.0 CC サポートソフトを入れよう】(10ページ)の手順を行ってください。

［I-O DATA MOC2-U640(MOC2-U1.3)］がない

【接続しよう】(14ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

［I-O DATA USB2-IDE/ATAPI Mass Storage Controller］がない

【接続しよう】(14ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

8 「デバイスマネージャ」を閉じます。

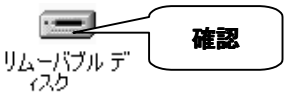
画面右上にある ✕ をクリックします。

9 本製品のアイコンを確認します。

①［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

②［マイコンピュータ］の中に［リムーバブルディスク］アイコンがある ことを確認します。

⇒これが本製品のアイコンです。



［リムーバブルディスク］アイコンがない

【本製品のアイコンが表示されない】(49ページ)をご覧ください。

複数の［リムーバブルディスク］アイコンがある場合

Windowsでフォーマットされた MOディスクを本製品のみに挿入します。

［リムーバブルディスク］アイコンを順番に開いていき、そのMOディスクの内容が表示されるアイコンが本製品のアイコンです。

以上で、本製品は使えるようになりました。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
本製品の電源を入れる	本ページ
本製品の電源を切る	次ページ
本製品を接続する	26ページ
本製品を取り外す	26ページ
MOディスクの操作	27ページ
MOディスクをフォーマットする	29ページ

本製品の電源を入れる

● 本製品の電源を入れます。

①電源スイッチを「ON」側に動かします。

②電源ランプが点灯するのを確認します。



電源を入れるタイミングについて

パソコンの電源や本製品が接続されているかどうかに関係なく、いつでも本製品の電源を入れられます。

本製品の電源を切る

●パソコン→本製品の順に電源を切る

1 本製品からMOディスクを取り出します。

操作は、【●MOディスクを取り出す】(28ページ)をご覧ください。

2 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

3 本製品の電源を切ります。

電源スイッチを「OFF」側に動かします。

●パソコンの電源を切らずに本製品の電源を切る

参考

USB 2.0インターフェイスをお使いの場合

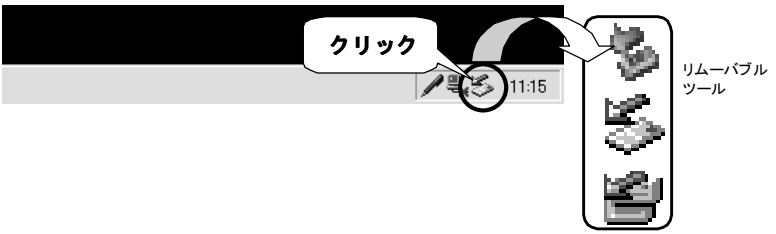
手順が異なります。

各取扱説明書をご覧になるか、各メーカーにお問い合わせください。

1 本製品からMOディスクを取り出します。

操作は、【●MOディスクを取り出す】(28ページ)をご覧ください。

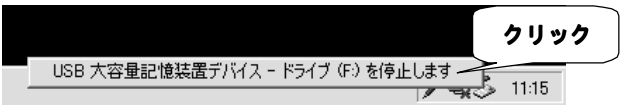
2 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。



3 本製品の表示をクリックします。

複数のUSB 2.0製品を接続している場合は、ドライブ文字で判断してください。

Windows 2000の場合



「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された

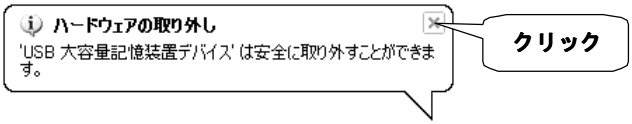
①使っているソフトウェアを全て終了します。

②本手順を行います。

※同じメッセージが表示されたら、【●パソコン→本製品の順に電源を切る】(前ページ)の手順を行ってください。

4 メッセージを確認します。

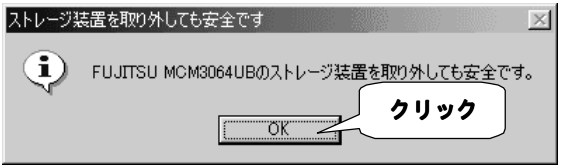
Windows XPの場合



Windows 2000の場合



Windows Me, Windows 98の場合



5 本製品の電源を切ります。

電源スイッチを「OFF」側に動かします。

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

1 本製品の電源を入れます。

操作は、【本製品の電源を入れる】(23ページ)をご覧ください。

2 本製品をUSBポートに接続します。

本製品を取り外す

1 本製品の電源を切ります。

操作は、【本製品の電源を切る】(24ページ)をご覧ください。

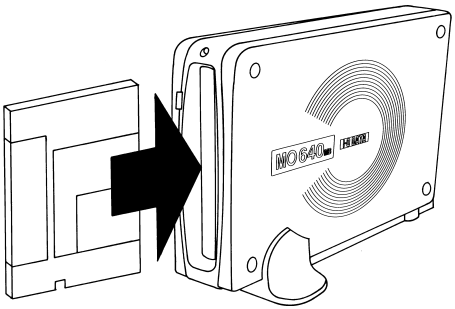
2 本製品をUSBポートから取り外します。

MOディスクの操作

●MOディスクを挿入する

1 MOディスクを挿入します。

MOディスクの表側をアクセスランプに向けてMOディスク挿入口へまっすぐに挿入し、カチッと音がするまで押し込みます。

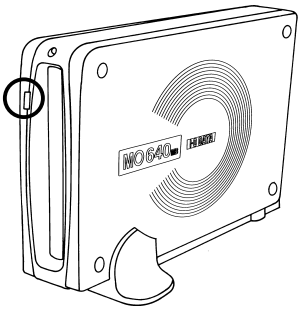


MOディスクの金属部分を持たないでください
静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となります。

2 アクセスランプが点灯後、消灯したことを確認します。

●MOディスクを取り出す

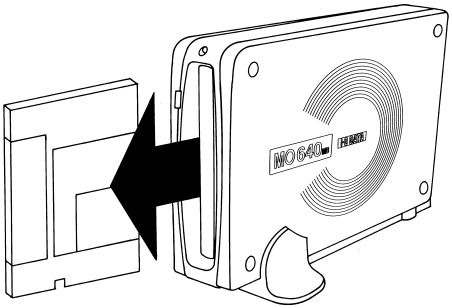
1 本製品のアクセスランプが消灯しているのを確認します。



2 Windows上で［取り出し］をクリックします。

本製品のアイコンを右クリックし、表示された［取り出し］をクリックします。

⇒自動的にMOディスクが出てきます。



MOディスクを取り出せない

【MOディスクを取り出せない】(51ページ)をご覧ください。

MOディスクをフォーマットする



フォーマットすると、データはすべて消去されます

MOディスクに必要なデータがある場合は、先にハードディスクなどにバックアップをしてからフォーマットしてください。

手順	
●Windows XP, Windows 2000の場合	本ページ
●Windows Me, Windows 98 SE, Windows 98の場合	32ページ

●Windows XP, Windows 2000の場合



ユーザー権限の場合

パソコンの電源を入れる前に、電源を入れた本製品を接続してください。フォーマットが正常にできなくなります。その場合は、一度Administrator権限を持つアカウントでログオンしなおすか、パソコンを再起動してください。



すべてのユーザーで、MOディスクをフォーマットしたい場合は

Administrator権限を持つユーザーのみフォーマットすることができます。【権限変更】(61ページ)をご覧になり、ローカルポリシーの設定を［Administrators and Interactive Users］に変更してください。

MOディスクに一部読み書きできない不良セクタができた場合は

そのMOディスクを使わないでください。

1 フォーマットしたいMOディスクを挿入します。

2 ［マイコンピュータ］を開きます。

Windows XPの場合

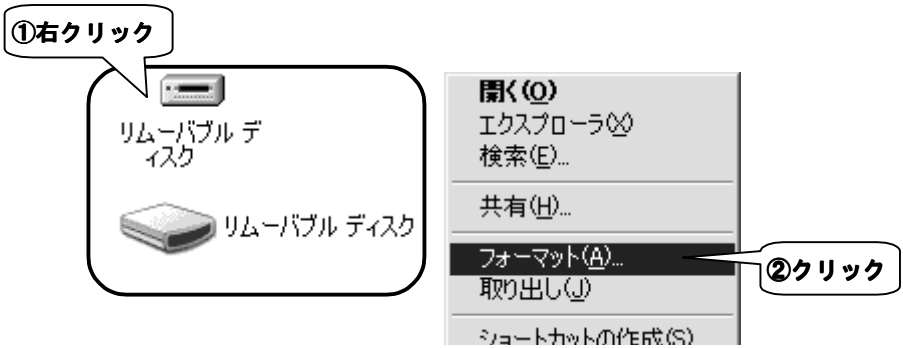
［スタート］→［マイコンピュータ］の順にクリックします。

Windows 2000の場合

デスクトップ上の［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

3 「フォーマット」を起動します。

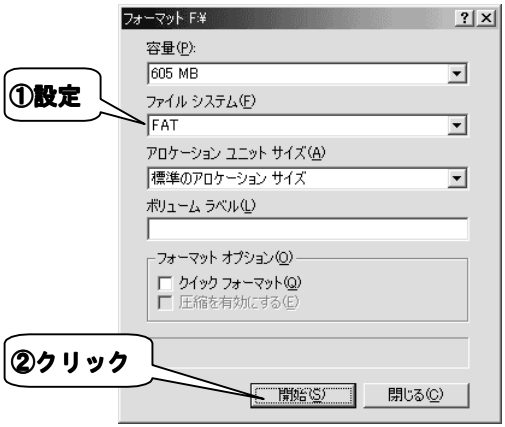
①［リムーバブルディスク］アイコンを右クリックします。
⇒メニューが表示されます。
②メニュー内の［フォーマット］をクリックします。



ファイルシステムの［NTFS］は使わないでください
MOディスクを正しく使うことができません。

4 フォーマットの設定をします。

①［ファイルシステム］を設定します。
②［開始］ボタンをクリックします。
⇒フォーマットが開始されます。



参考

［ファイルシステム］の設定

［FAT］　：通常、この方式をお使いください。

［FAT32］：この方式でフォーマットされたMOディスクは古いWindows 95などで見ることが出来ません。

［NTFS］　：設定しないでください。

［クイックフォーマット］

これにチェックをつけると、一度フォーマットされているMOディスクを素早くフォーマットできます。

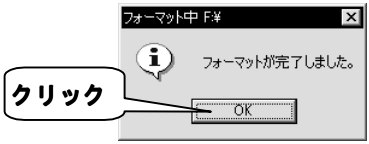
5 ［OK］ボタンをクリックします。

⇒フォーマットが開始されます。

フォーマットには、容量に応じた時間がかかります。



6 ［OK］ボタンをクリックします。



7 ［閉じる］ボタンをクリックします。

以上で、MOディスクはフォーマットされました。

●Windows Me, Windows 98 SE, Windows 98の場合

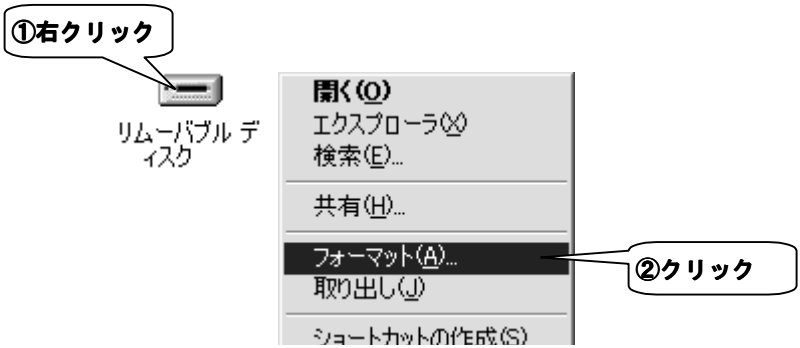
1 フォーマットしたいMOディスクを挿入します。

2 ［マイコンピュータ］を開きます。

デスクトップ上の［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

3 「フォーマット」を起動します。

①本製品のアイコンを右クリックします。
⇒メニューが表示されます。
②メニュー内の［フォーマット］をクリックします。

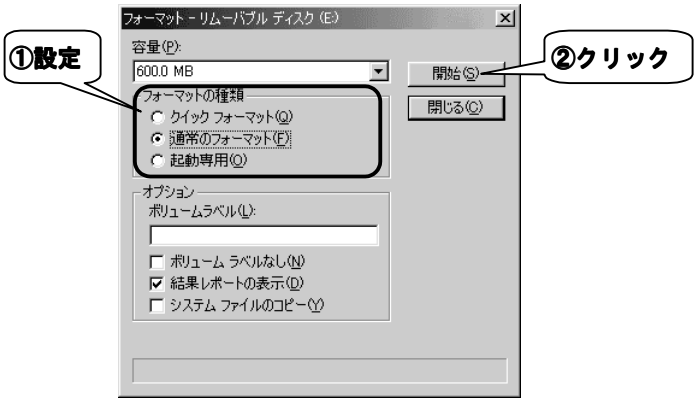


4 フォーマットの設定をします。

①［フォーマットの種類］を設定します。

②［開始（スタート）］ボタンをクリックします。

⇒フォーマットが開始されます。



［クイックフォーマット］

これを選択すると、一度フォーマットされているMOディスクを素早くフォーマットできます。

MOディスクが損傷している可能性がある場合は、選択しないでください。

［起動専用］

本製品ではMOディスクから起動することは出来ません。

選択しないことをおすすめします。

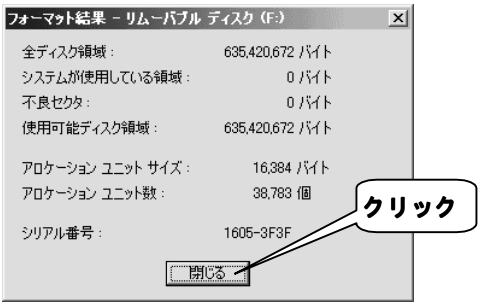
5 ［OK］ボタンをクリックします。

⇒フォーマットが開始されます。

フォーマットには、容量に応じた時間がかかります。



6 ［閉じる］ボタンをクリックします。



7 ［閉じる］ボタンをクリックします。

フォーマット画面を閉じます。

参考

フォーマットしたMOディスクには

スキャンディスクをかけることをおすすめします。

以上で、MOディスクはフォーマットされました。

Mac OS 9でお使いの場合

Mac OS 9でお使いの場合は･･･
本製品はUSB 1.1機器として認識されます。

使えるようにしよう ･･･････････････ 36

本製品を使えるようにします。

接続しよう ･･･････････････ 38

本製品の接続について説明します。

確認しよう ･･･････････････ 40

本製品が使えるようになったか確認します。

基本操作について ･･･････････････ 41

本製品を使う上での操作について説明します。

使えるようにしよう

本製品を使えるようにする手順について説明します。

USB 2.0 CC サポートソフトを入れる

本製品を使うために、USB 2.0 CC サポートソフトが必要です。

注意

ここでは、まだ本製品を接続しないでください

本製品は本手順内で「接続する」という記載があるまで接続しないでください。（【接続しよう】(38ページ)で接続します。）

弊社製USB 2.0機器をすでにお使いの方へ

お使いの製品に添付されているCD-ROMに「USB 2.0 CC サポートソフト」が入っているかを、CD-ROMのラベルなどでご確認ください。
入っている場合は、バージョンを確認してください。

- **バージョンが本製品のものと同じか、新しい場合**
  【接続しよう】(38ページ)にお進みください。
- **バージョンが本製品のものより古い場合**
  今お使いのサポートソフトを削除してから作業をしてください。
- **「USB 2.0 CC サポートソフト」が入っていない場合**
  今お使いのサポートソフトを削除してから作業をしてください。

1 Mac OSを起動します。

パソコンの電源を入れ、Mac OSを起動します。

2 「MOC2シリーズサポートソフト」を挿入します。

「MOC2シリーズサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。
⇒自動で「MOC2シリーズサポートソフト」の中が表示されます。

参考

自動で開かなかった場合は･･･

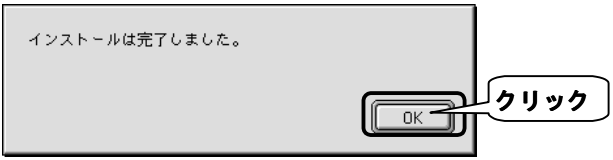
デスクトップ上にあるCD-ROMのアイコン（MOC2_xxx：xxxには数字が入ります）をダブルクリックしてください。

3 [Install Cypress MSC Driver-J] をダブルクリックします。

[USB2CC] → [Install Cypress MSC Driver-J] の順にダブルクリックします。



4 [OK] ボタンをクリックします。



これで本製品は使えるようになりました。
次は、本製品を接続します。次ページをご覧ください。

接続しよう

ここでは、本製品の接続について説明します。

1 USBケーブルをMOドライブに接続します。

USBケーブルのUSBコネクタ（miniBタイプ）を、MOドライブのUSBポートに接続します。

2 ACアダプタをMOドライブに接続します。

ACアダプタを、MOドライブのDC端子に接続します。

3 ACアダプタを電源コンセントに接続します。

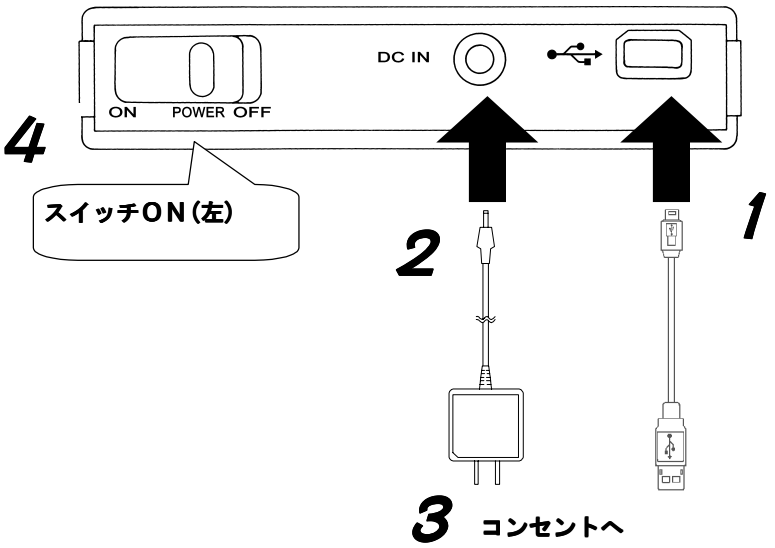
4 MOドライブの電源を入れます。

5 本製品をUSBポートに接続します。

USBポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

本製品は接続されました。
次は、正しく作業をできたか確認します。40ページをご覧ください。

本製品背面（横置きの場合）



確認しよう

ここでは、本製品が使えるかどうかを確認します。

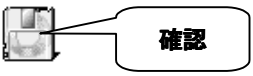
1 本製品にMOディスクを挿入します。

参考

MOディスクが初期化されていない場合
初期化の画面が表示されます。
詳しくは、【MOディスクを初期化する】(44ページ)をご覧ください。

2 MOディスクのアイコンが表示される事を確認します。

デスクトップ上にMOディスクのアイコンが表示されます。



注意

アイコンがない
【本製品のアイコンが表示されない】(49ページ)をご覧ください。

3 「Apple システム・プロフィール」を開きます。

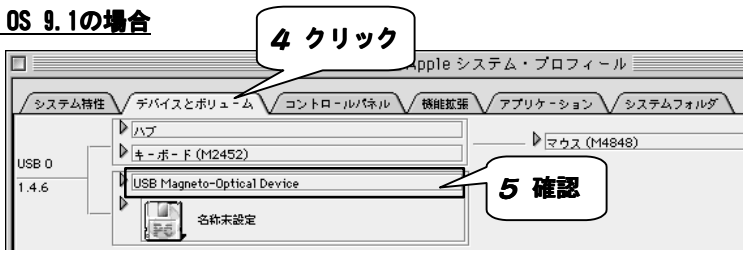
［アップルメニュー］→［Apple システム・プロフィール］をクリックします。

4 ［デバイス(装置)とボリューム］タブをクリックします。

5 ［USB Magneto-Optical Device］を確認します。

［USB x］の中に［USB Magneto-Optical Device］があることを確認します。

Mac OS 9.1の場合



注意

［USB Magneto-Optical Device］がない
【接続しよう】(38ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。
それでも表示されない場合は、【サポートソフトの削除】(65ページ)の手順を行ってください。
その後、【使えるようにしよう】(36ページ)の手順を行ってください。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
本製品の電源を入れる	本ページ
本製品の電源を切る	本ページ
本製品を接続する	次ページ
本製品を取り外す	次ページ
MOディスクの操作	43ページ
MOディスクを初期化する	44ページ

本製品の電源を入れる

● 本製品の電源を入れます。

①電源スイッチを「ON」側に動かします。

②電源ランプが点灯するのを確認します。



電源を入れるタイミングについて

パソコンの電源や本製品が接続されているかどうかに関係なく、いつでも本製品の電源を入れられます。

本製品の電源を切る

1 本製品からMOディスクを取り出します。

操作は、【●MOディスクを取り出す】(43ページ)をご覧ください。

2 本製品の電源を切ります。

電源スイッチを「OFF」側に動かします。

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

1 本製品の電源を入れます。

2 本製品をUSBポートに接続します。

本製品を取り外す

パソコンの電源が入っていてもいなくても、本手順で取り外すことができます。

1 本製品からMOディスクを取り出します。
方法については【●MOディスクを取り出す】(次ページ)をご覧ください。

2 本製品をUSBポートから取り外します。

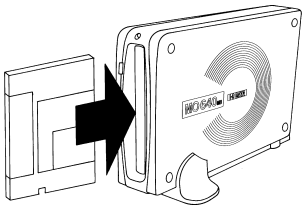
3 本製品の電源を切ります。

MOディスクの操作

●MOディスクを挿入する

1 MOディスクを挿入します。

MOディスクの表側をアクセスランプに向けてMOディスク挿入口へまっすぐに挿入し、カチッと音がするまで押し込みます。



MOディスクの金属部分を持たないでください
静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となります。

2 アクセスランプが点灯後、消灯したことを確認します。

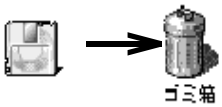
●MOディスクを取り出す

イジェクトボタンは使えません
イジェクトボタンを押してもMOディスクは取り出せません。

1 本製品のアクセスランプが消灯しているのを確認します。

2 MOディスクのアイコンをごみ箱に捨てます。

⇒自動的にMOディスクが出てきます。



MOディスクを取り出せない
【MOディスクを取り出せない】(51ページ)をご覧ください。

MOディスクを初期化する

フォーマッタソフトは使えません

B'sCrew等のフォーマッタソフトは、本製品では使えません。
（フォーマッタソフトで初期化されたMOディスクは問題無く使えます）

MOディスクに一部読み書きできない不良セクタができた場合

そのMOディスクをそれ以上使わないでください。
ただし、そのMOディスクを物理フォーマットすることにより再び使うことができる場合があります。
本製品の場合、Windows Me/98にて物理フォーマットすることが可能です。

1 本製品にMOディスクを挿入します。

⇒デスクトップにMOディスクのアイコンが表示されます。

いきなり手順4の画面になることがあります。

その場合は、次ページの手順4にお進みください。

2 MOディスクのアイコンをクリックします。

3 ［ディスク(装置)の初期化］をクリックします。

Finderメニューの［特別］をクリックし、表示された［ディスク(装置)の初期化］をクリックします。



4 初期化を行います。

①［名前］にMOディスクに付ける名前を入力します。
②［フォーマット］を選択します。
③［初期化］ボタンをクリックします。
⇒MOディスクの初期化が始まります。



初期化できない
【MOディスクを初期化できない】(58ページ)をご覧ください。

［フォーマット］の選択について
フォーマットには［Mac OS標準］を選ぶことをおすすめします。

本製品で初期化したMOディスクは
Mac OS上で有効な他のMOドライブでも使えます。
ただし、このMOディスクからOSを起動することはできません。

DOS形式を選択して初期化したい場合は
Windowsでフォーマットしてください。

DOS形式フォーマットのみ選択可能の場合は
Windowsでフォーマットしてください。

Memo

付録

困った時には ・・・・・・・・・・・・・・・ 48

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

権限変更 ・・・・・・・・・・・・・・・ 61

Windows XP,Windows 2000で権限を変更する方法を説明します。

サポートソフトの削除 ・・・・・・・・・・・・・・・ 65

サポートソフトの削除方法を説明します。

用語解説 ・・・・・・・・・・・・・・・ 71

本書内の用語を説明します。

ハードウェア仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・ 72

本製品の仕様を説明します。

困った時には

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

共通のトラブル

本製品のアイコンが表示されない	４９
MOディスクの読み書き中にデータエラーが発生する	５０
フォーマットや書き込み中に処理が中断される	
MOディスクにファイルの書き込みができない	
MOディスクを読み書き中は、他のUSB機器が認識されない	
MOディスクを挿入しても反応がない	５１
MOディスクを取り出せない	

Windows XP, Windows 2000でのトラブル

Administrator権限以外のユーザーでお使いの場合、MOディスクのフォーマットや取り出しができない	５２
NTFS形式のMOディスクを読み書きできない	

Windows Me, Windows 98でのトラブル

USB 2.0 CC サポートソフトを入れる(または削除する)途中でエラー画面が表示される	５３
ファイルの読み書きができない	５４
MOディスクにスキャンディスクを実行するとエラーが出る	
十分な空き容量があるのに書き込みができない	５５

Mac OSでのトラブル

「タイプ -110エラー」のウィンドウが表示される	５８
640Mバイト以上のMOディスクを「検証」したらエラー報告された	
本製品に挿入したMOディスクからMac OSを起動できない	
MOディスクを初期化できない	
データの入ったMOディスクを入れても初期化ウィンドウが出る	５９

共通のトラブル

本製品のアイコンが表示されない

原因1 **「更新」されていない(Windowsのみ)**

［マイコンピュータ］の［表示］→［最新の情報に更新］をクリックしてください。

原因2 **MOディスクが挿入されていない(Mac OSのみ)**

MOディスクを挿入してください。(43ページ参照)

原因3 **接続するUSBポートによっては認識されない**

接続するUSBポートを変えてください。特にUSBハブに接続している場合は、パソコンのUSBポートに変えてみてください。

原因4 **正常に認識されていない**

【確認しよう】(16, 40ページ)をご覧になり、正常認識されているか確認してください。

原因5 **他のUSB機器がUSBのデータ転送幅を全て使っている（弊社製USB-CCDでキャプチャしているなど）**

この場合すぐには、認識されません。他のUSB機器の動作が終わってから、本製品をUSBポートに接続してください。

原因6 **ドライブが割り当てられていない(Windows Me/98のみ)**

【ドライブ名の予約】(57ページ)をご覧ください。

原因7 **機能拡張が競合している(Mac OSのみ)**

【機能拡張の競合解消方法】(60ページ)をご覧ください。

MOディスクの読み書き中にデータエラーが発生する

原因 **本製品のヘッドが汚れている**

【●本製品内部のクリーニングについて】(viページ)をご覧になり、本製品のヘッドをクリーニングしてください。

フォーマットや書き込み中に処理が中断される

原因 **長時間使うことで高温になり、安全装置が働いた**

システムを終了してパソコンの電源を切り、MOドライブが冷えるまでしばらくお待ちください。

MOディスクにファイルの書き込みができない

原因 **MOディスクがライトプロテクトされている**

MOディスクのライトプロテクトを解除してから、ファイルを書き込んでください。ライトプロテクトについては、MOディスクの説明をご覧ください。

MOディスクを読み書き中は、他のUSB機器が認識されない

原因 **本製品がUSBのデータ転送幅を全て使っている**

この場合すぐには、認識されません。MOディスクの読み書きが終わるまでお待ちください。

MOディスクを挿入しても反応がない

原因１　他のUSB機器がUSBのデータ転送幅を全て使っている（弊社製USB-CCDでキャプチャしているなど）

この場合すぐには、認識されません。他のUSB機器の動作が終わった時点でMOディスクを使えるようになります。

原因２　動作がおかしくなっている

他のUSB機器が動作していない場合、USBポートに接続している本製品を抜き挿ししてください。

MOディスクを取り出せない

原因１　パソコンの電源が入っていない(Mac OSのみ)

パソコンの電源を入れた状態で、MOディスクを取り出してください。

原因２　機械的な故障や、その他の理由で取り出せない

パソコンの電源を切ってから、MOドライブの電源を切ります。
添付の強制イジェクト・ピンを強制イジェクト・ホールに約25mmほど差し込むとイジェクトします。

※ これは、緊急時の操作です。
むやみに使うと故障の原因となります。
この操作で取り出せない場合は、無理に引き出さず、弊社修理係にご依頼ください。

Windows XP, Windows 2000でのトラブル

Administrator権限以外のユーザーでお使いの場合、MOディスクのフォーマットや取り出しができない

原因1 **権限が全てのユーザーにない**

Windows XP, Windows 2000は、そのままではAdministrator権限以外のユーザーにてMOディスクのフォーマットや取り出しをすることはできません。

Windows XP Professional Edition, Windows 2000の場合

【権限変更】(61ページ)をご覧になり、ローカルポリシーの設定を「Administrators and Interactive Users」にしてください。

Windows XP Home Editionの場合

権限変更は出来ません。
コンピュータの管理者アカウントでお使いください。

原因2 **本製品を接続したまま起動していない**

MOディスクをフォーマットしたり、取り出したい場合は、電源の入った本製品を、USBポートに接続した後でWindowsを起動してください。

参考

一度本製品を取り外すと
もう一度接続し直しても、フォーマットや取り出しは出来なくなります。
その場合、Windowsを再起動してください。

NTFS形式のMOディスクを読み書きできない

原因 **本製品では、NTFSのフォーマットは使えない**

本製品では、NTFS形式でフォーマットされたMOディスクはお使いいただけません。

Windows Me, Windows 98でのトラブル

USB 2.0 CC サポートソフトを入れる(または削除する)途中でエラー画面が表示される

原因 **USB機器を接続している**

USB機器を接続したままで、USB 2.0 CC サポートソフトを入れる(または削除する)ことはできません。下記の手順を行ってください。

1 **[OK]ボタンをクリックします。**

⇒エラー画面が閉じます。



参考

USBのCD-ROMドライブをお使いの方へ

この手順では、作業できません。

【サポートソフトのコピー方法】(56ページ)の手順を行ってください。

2 **パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。**

本製品を含む全てのUSB機器（キーボード、マウスを除く）を取り外します。

3 **もう一度、作業を行います。**

【USB 2.0 CC サポートソフトを入れよう】(10ページ)か、【サポートソフトの削除】(65ページ)の手順を行ってください。

ファイルの読み書きができない

原因 **MOディスクのフォーマット形式が異なっている**

1)MOディスク内のデータが必要ない場合は、【MOディスクをフォーマットする】(29ページ)の手順でフォーマットしてお使いください。(データは全て無くなります)

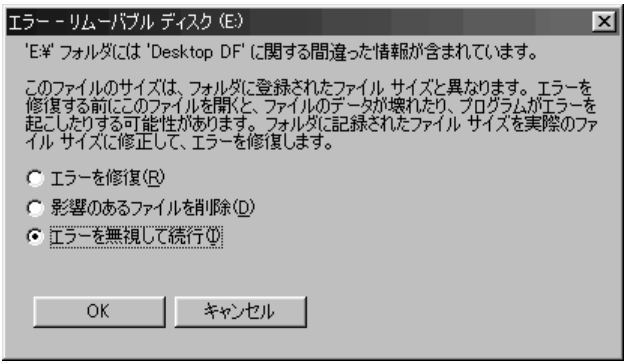
2)Mac OSのフォーマット形式の場合は、Mac OS側でWindowsフォーマットのMOディスクを使ってデータを移してください。

※ ただし、Mac OSでフォーマットしたMOディスクはWindowsでは認識できません。

MOディスクにスキャンディスクを実行するとエラーが出る

原因 **そのMOディスクを一度Macintoshで使っている**

一度、Mac上にマウントしたDOSフォーマット(IBM,もしくはFDISK)のMOディスクをWindows 98上でスキャンディスクを実行した場合、次のようなエラーが表示される場合があります(ファイル「Desktop DF」は、Mac OS上で管理に必要な情報が含まれたファイルです)。この場合は、「エラーを無視して続行」を選んでください。



十分な空き容量があるのに書き込みができない

原因

ルートフォルダに置くことの出来るファイル数を超えている

ルートフォルダ（MOディスクの一番上）に置くことの出来るファイル（フォルダ）の数には制限があります。制限を超えると空き容量があってもエラーが表示され、書き込む事が出来なくなることがあります。

その場合は、フォルダを作成し、その中にファイルを書き込んでください。フォルダが作成できない場合は、ファイルをいくつか削除した後、フォルダの作成を行ってください。

作成されたフォルダ内ではファイル数の制限はありません。

サポートソフトのコピー方法

これは、【USB 2.0 CC サポートソフトを入れる(または削除する)途中でエラー画面が表示される】(53ページ)の問題解決のための手順の１つです。

1 「MOC2シリーズサポートソフト」を挿入します。

CD-ROMドライブに、「MOC2シリーズサポートソフト」を挿入します。

2 データをデスクトップにコピーします。

「MOC2シリーズサポートソフト」内の［USB2CC］フォルダを、デスクトップにコピーします。



コピー方法

①［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。
②CD-ROMアイコンをダブルクリックします。
③［USB2CC］フォルダをクリックします。
④メニューから［編集］→［コピー］をクリックします。
⑤デスクトップを右クリックします。
⑥表示されたメニューの中の［貼り付け］をクリックします。
⇒［USB2CC］フォルダがコピーされます。

3 「MOC2シリーズサポートソフト」を取り出します。

4 パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。

本製品を含む全てのUSB機器（キーボード、マウスを除く）を取り外します。

5 ［DDSETUP］アイコンをダブルクリックします。

［USB2CC］→［DDSETUP］の順にダブルクリックします。
この後、エラー画面が表示された手順に戻り、作業を続けてください。

ドライブ名の予約

これは、【本製品のアイコンが表示されない】(49ページ)の問題解決のための手順の１つです。

1 「MOドライブのドライバ」をダブルクリックします。

【確認しよう】(16ページ)の手順をご覧になり、［USBディスク］または［I-O DATA USB2-IDE/ATAPI Mass Storage Controller］の下にある「MOドライブのドライバ」をダブルクリックします。



「MOドライブのドライバ」の表示

MOC2-U1.3：FUJITSU MCM3130UB
MOC2-U640：FUJITSU MCM3064UB

2 ［設定］タブをクリックします。

3 「予約ドライブ文字」を設定します。

［開始ドライブ］と「終了ドライブ」に、使っていない同じドライブ名を入力します。

4 ［OK］ボタンをクリックします。

5 ［OK］ボタンをクリックします。

6 Windowsを再起動します。

Mac OSでのトラブル

「タイプ -110エラー」のウィンドウが表示される

原因 **DOSフォーマットのMOディスクを読み書きした**

MacintoshでDOSフォーマット（スーパーフロッピー形式もしくはFDISK形式）のMOディスクを読み書きしたときにタイプ-110エラーが出る場合があります。
このエラーはファイルのデータを破壊するものではありません。
表示された場合は、再度ファイル操作をやり直してください。

640Mバイト以上のMOディスクを「検証」したらエラー報告された

原因 **Mac OSの仕様のため**

640Mバイト以上のMOディスク上に対してDisk First Aidを起動し、「検証」を実行した場合、エラーレポートが報告される場合がありますが、問題なく使えます。

本製品に挿入したMOディスクからMac OSを起動できない

原因 **Mac OSではUSB機器からの起動はできない**

MOディスクを初期化できない

原因 **AppleTalkが「使用」状態で、ファイル共有が「開始」されている**

この場合は、一時的に[Appleメニュー]-[セレクタ]を開き、AppleTalkを「不使用」にするか、[アップルメニュー]-[コントロールパネル]-[ファイル共有]コントロールパネルを開き、ファイル共有を「中止」にした上で初期化を行ってください。

データの入ったMOディスクを入れても初期化ウィンドウが出る

原因１ File Exchangeが「有効」になっていない

［Appleメニュー］→［コントロールパネル］→［機能拡張マネージャ］をクリックします。

「File Exchange」に「×」をつけて、再起動してください。



原因２ 認識できないフォーマット形式である

そのMOディスクを読み出せる環境があれば、その環境でバックアップをし、その後、MOディスクを初期化しなおしてください。

機能拡張の競合解消方法

これは、【本製品のアイコンが表示されない】(49ページ)の問題解決のための手順の１つです。手順例は、Mac OS 9.1のものです。

1 「機能拡張マネージャ」を開きます。

［アップルメニュー］→［コントロールパネル］→［機能拡張マネージャ］をクリックします。

2 ［セット］を［Mac OS xx 基本］に設定します。

※ xxにはMac OSのバージョンが入ります。



3 ［セットの複製］ボタンをクリックします。

⇒［セット］が［Mac OS xx 基本のコピー］になります。

4 ［Cypress MSC Driver］に［×］を付けます。

5 ［再起動］ボタンをクリックします。

⇒Mac OSが再起動します。



6 本製品の動作を確認します。

MOディスクを本製品に挿入し、MOディスクのアイコンが画面に表示されることを確認します。

また、他の周辺機器やソフトウェアが動作することもご確認ください。

動作しない場合は、それぞれ再インストールしてください。

権限変更

ここでは、Windows XP, Windows 2000で権限を変更する方法について説明します。
この設定をすれば、コンピュータの管理者アカウントおよびAdministrator権限以外のユーザーでもMOディスクをフォーマット／取り出しできるようになります。

ユーザー権限の場合

パソコンの電源を入れる前に、電源を入れた本製品を接続してください。
フォーマットが正常にできなくなります。
フォーマットができない場合は、一度コンピュータの管理者アカウントおよびAdministrator権限でログオンしなおすか、Windowsを再起動してください。

本作業をするときは･･･

インストールできるアカウントでログオンしてください。

Administrator権限以外のユーザーは･･･

本作業をするまでは、MOディスクのフォーマット／取り出しはできません。

Windows XP Home Editionでお使いの場合

本作業（権限変更）は出来ません。
コンピュータの管理者アカウントでお使いください。

1 コンピュータの管理者アカウントでログオンします。

2 「コントロールパネル」を起動します。

Windows XPの場合

［スタート］→［コントロールパネル］をクリックします。

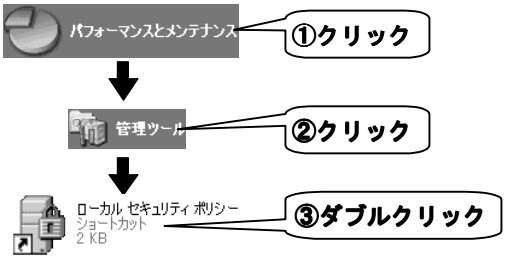
Windows 2000の場合

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］をクリックします。

3 ［ローカルセキュリティ設定］を開きます。

Windows XPの場合

①［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックします。
②［管理ツール］をクリックします。
③［ローカルセキュリティポリシー］をダブルクリックします。
⇒［ローカルセキュリティ設定］が起動されます。

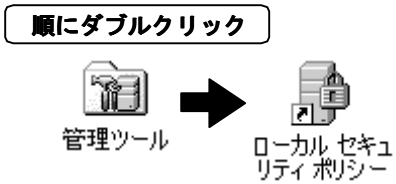


Windows 2000の場合

①［管理ツール］をクリックします。

②［ローカルセキュリティポリシー］をダブルクリックします。

⇒［ローカルセキュリティ設定］が起動されます。



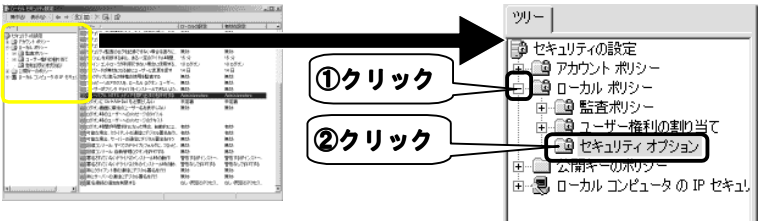
4 「セキュリティオプション」を開きます。

①［ツリー］内にある［ローカルポリシー］の左横の ⊞ をクリックします。

⇒ ⊟ になり、［ローカルポリシー］の下が表示されます。

②表示された［セキュリティオプション］をクリックします。

⇒右側に「セキュリティオプション」の内容が表示されます。



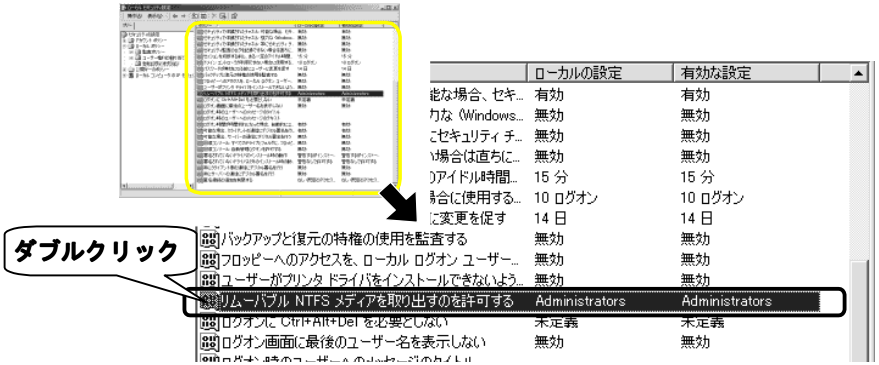
5 MOディスクの取り出しに関する設定を開きます。

Windows XPの場合

［デバイス：リムーバブルメディアを取り出すのを許可する］をダブルクリックします。

Windows 2000の場合

［リムーバブルNTFSメディアを取り出すのを許可する］をダブルクリックします。

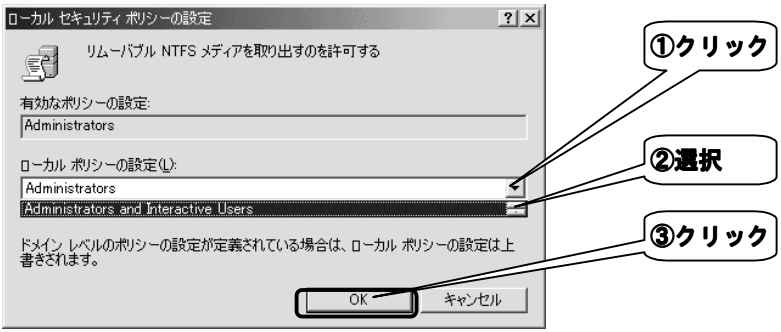


6 ローカルポリシーの設定を変更します。

①［ローカルセキュリティ（ポリシー）の設定］の中にあるをクリックします。

②希望する設定を選択します。

③［OK］ボタンをクリックします。



ローカルポリシーの設定について

フォーマット／取り出しを許可するユーザーのレベルによって設定が異なります。

・管理者のみ　→　[Administrators]

・全ての人　→　[Administrators と(and) Interactive Users]

ローカルポリシーの設定について

をクリックして、希望する設定に変更します。

7 「ローカルセキュリティ設定」を閉じます。

右上の をクリックします。

⇒「ローカルセキュリティ設定」が閉じます。

8 パソコンを再起動します。

⇒以上で、フォーマット／取り出しできる権限が変更されました。

サポートソフトの削除

サポートソフトの削除方法について説明します。

操作	
Windows XP, Windows 2000の場合	本ページ
Windows Me, Windows 98の場合	67ページ
Mac OSの場合	70ページ

Windows XP, Windows 2000の場合



本作業をするときは･･･
インストールできるアカウントでログオンしてください。

1 「コントロールパネル」を起動します。

Windows XPの場合

［スタート］→［コントロールパネル］をクリックします。

Windows 2000の場合

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］をクリックします。

2 追加と削除の画面を起動します。

Windows XPの場合

［プログラムの追加と削除］をクリックします。

Windows 2000の場合

［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。

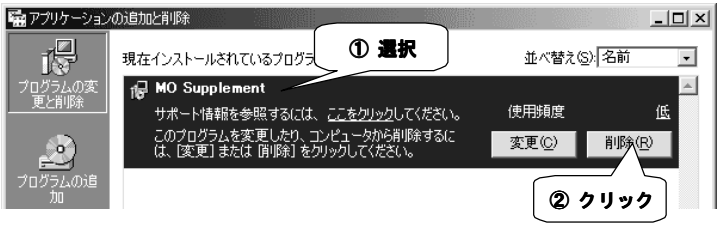
3 MOソフトウェアを指定します。

Windows XPの場合

［MO Supplement for XP］を選択し、［削除］ボタンをクリックします。

Windows 2000の場合

［MO Supplement］を選択し、［削除］ボタンをクリックします。



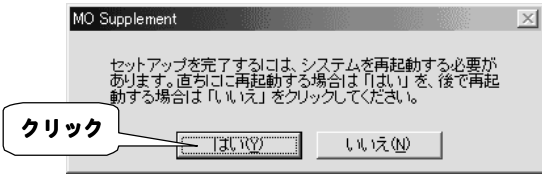
4 ［はい］ボタンをクリックします。



5 ［はい］ボタンをクリックします。

⇒再起動されます。

これで「MOソフトウェア」の削除は完了です。



Windows Me, Windows 98の場合

操作	
●USB 2.0 CC サポートソフトの削除	本ページ
●MOソフトウェアの削除	69ページ

●USB 2.0 CC サポートソフトの削除

参考

この作業はCDメニューが表示されていることが前提です

【CDメニューを表示する】(10ページ)をご覧になり、CDメニューを表示してください。

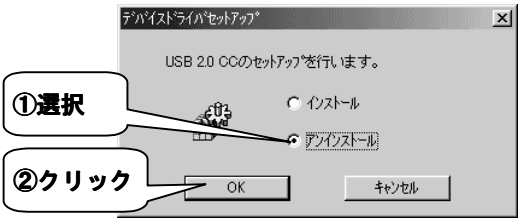
この作業はWindows Meでは必要ありません

Windows Meでは、USB 2.0 CC サポートソフトを使っていません。

1 USB 2.0 CC サポートソフト **をクリックします。**

2 ［アンインストール］を選択します。

［アンインストール］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。



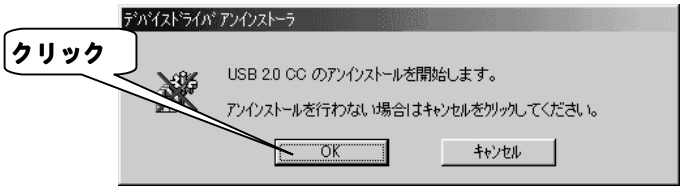
注意

このような画面が表示されたときは

【USB 2.0 CC サポートソフトを入れる(または削除する)途中でエラー画面が表示される】(53ページ)をご覧ください。



3 [OK] ボタンをクリックします。



4 [OK] ボタンをクリックします。

5 [はい] ボタンをクリックします。

⇒パソコンが再起動されます。

これで「USB 2.0 CC サポートソフト」の削除は完了です。



本手順後に他のUSB機器の認識が異常になる場合は

認識が異常になったUSB機器のインストールをもう一度行ってください。

●MOソフトウェアの削除

1 「コントロールパネル」を起動します。

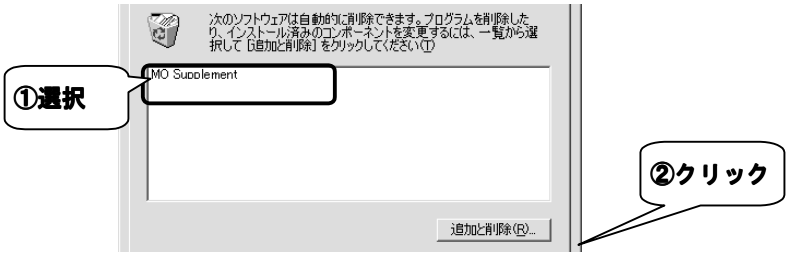
［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］をクリックします。

2 ［アプリケーションの追加と削除］を開きます。

［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

3 MOドライブ用のソフトウェアを指定します。

［MO Supplement］を選択し、［追加と削除］ボタンをクリックします。

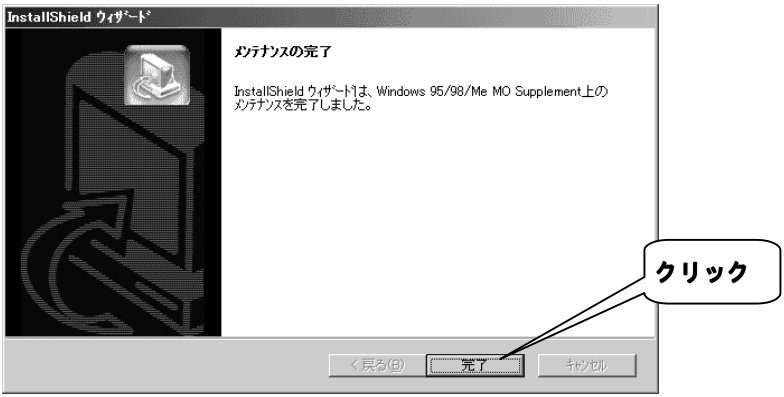


4 ［OK］ボタンをクリックします。



5 ［完了］ボタンをクリックします。

⇒これで「MOソフトウェア」の削除は完了です。



Mac OSの場合

1 本製品をUSBポートから取り外します。

（【本製品を取り外す】(42ページ)参照）

2 ［機能拡張］を開きます。

［起動ボリューム］→［システムフォルダ］→［機能拡張］の順にダブルクリックします。



3 ［Cypress MSC Driver］を削除します。

機能拡張の中にある［Cypress MSC Driver］をゴミ箱に捨てます。



4 パソコンを再起動し、「ゴミ箱を空に」します。

これで「USB 2.0 CC サポートソフト」の削除は完了です。

参考

「機能拡張マネージャ」を起動すると･･･

「このセットの中にコンピュータにインストールされていない機能拡張があります」と表示されます。

この場合、表示された画面にあるどちらのボタンをクリックしても問題ありません。

※［OK］ボタンをクリックするとインストールされていない機能拡張の情報が保存されます。

用語解説

USB(Universal Serial Bus)［ユーエスビー］

パソコンと周辺機器を接続する規格の１つ。
「USB 1.1」と「USB 2.0」の2つのバージョンがある。
特長として、接続のしやすさ、増設のしやすさなどがあげられる。

最大転送速度（理論値）



フォーマット

MOディスクを使えるようにするために必要な作業。
他に、イニシャライズや初期化などと呼ぶこともある。

メディアID規格

情報の保護をするための規格で、下記のような応用が考えられている。

・ネットワークでのデジタルコンテンツなどの流通における著作権保護
・対応アプリケーションとの組み合わせによる情報の保護



メディアID規格に対応するための案内について

本製品は、メディアID規格に対応しております。
弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）にて２００１年１２月頃のご案内を予定しています。

ハードウェア仕様

●MOC2-U1.3

インターフェイス	USB 2.0／USB 1.1対応
使用可能MOディスク	128M/230M※/540M※/640M※/1.3Gバイト ※オーバーライト対応ディスクを含む
セクタサイズ	・128/230/540Mバイト のMOディスクは512バイト ・640M/1.3Gバイト のMOディスクは2048バイト
シークタイム(平均)	23ms
MOディスク回転数	・128/230/540/640Mバイト のMOディスクは5455rpm ・1.3Gバイト のMOディスクは最大3637rpm
データ転送速度(最大)	6.70Mバイト/Sec
バッファサイズ	2Mバイト
動作温度	+5～+35℃（パソコンの動作する範囲であること）
動作湿度	20～80%（ただし結露なきこと）
電源	ACアダプタ　DC +5.0V,2.2A
本体サイズ	157.5(D) × 32(W) × 115(H)mm
質量	約560g（ACアダプタ含まず）

●MOC2-U640

インターフェイス	USB 2.0／USB 1.1対応
使用可能MOディスク	128M/230M※/540M※/640M※バイト ※オーバーライト対応ディスクを含む
セクタサイズ	・128/230/540Mバイト のMOディスクは512バイト ・640Mバイト のMOディスクは2048バイト
シークタイム(平均)	23ms
MOディスク回転数	5455rpm
データ転送速度(最大)	5.94Mバイト/Sec
バッファサイズ	2Mバイト
動作温度	+5～+35℃（パソコンの動作する範囲であること）
動作湿度	20～80%（ただし結露なきこと）
電源	ACアダプタ　DC +5.0V,2.2A
本体サイズ	157.5(D) × 32(W) × 115(H)mm
質量	約560g（ACアダプタ含まず）

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
5. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
6. 現在の状態(起こったタイミング、本製品や画面、メッセージなどについて)。

■オンライン

インターネット	http://www.iodata.co.jp/support/

■郵便

住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンター
「MOC2シリーズ」係　宛

■電話・FAX

電話番号	金沢　076-260-3688　東京　03-3254-1095
電話受け付け時間	9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)
FAX番号	金沢　076-260-3360　東京　03-3254-9055

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

■オンライン

サポートライブラリ　http://www.iodata.jp/lib/

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サービス窓口
「MOC2シリーズ」　宛
電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日(祝祭日を除く)

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（【サポートセンターへのお問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、販売店へご依頼いただくか、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

・修理品の返送日については以下の窓口にお問い合わせください。

●サービス窓口

お問い合わせの際は、ご依頼の際にメモに控えた内容をお伝えください。

電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

MOC2シリーズ 取扱説明書
2001.Nov.01 101943-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。